News Release

報道関係者各位

2026（令和 8）年 11 月 17 日
ベル・データ株式会社

ベル・データ、NTT インテグレーションとの共創サービス「PowerCloudNEXT®」のメニューを拡充

～最新の IBM Power11 基盤への対応と用途に応じた選択肢の拡充により、IBM i ／AIX 環境の最適化を支援～

BELL グループのベル・データ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：上野誠也、以下 ベル・データ）と、NTT インテグレーション株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：大土 拓、以下、NTT インテグレーション）は、IBM® Power® 向けクラウドサービス「PowerCloudNEXT®」において、IBM Power11 対応メニューおよび、ストレージ同期を必要としないお客様向けのローカルメニューを、2026 年 10 月 16 日より提供開始しました。

今回のメニュー拡充により、最新の IBM Power11 環境を利用したいお客様に加え、開発・検証環境や、ストレージ同期を必要としない業務環境など、用途・可用性・コストに関する要件に応じて、より適したサービス構成を選択いただけます。
「PowerCloudNEXT®」は、NTT インテグレーションとベル・データが共創する、日本最大規模の IBM Power（IBM i / AS/400 / AIX）向け次世代統合型クラウドサービスです。ベル・データは今後も NTT インテグレーションとともに、お客様のシステム基盤に関する多様な要件に対応し、IBM i / AIX 環境の継続利用、運用負荷の軽減および IT 基盤の最適化を支援してまいります。

メニュー拡充の背景

IBM Power Systems、IBM i および AIX 環境を利用する企業では、基幹システムの安定運用を維持しながら、ハードウェア更改、利用量の変化、災害対策、運用負荷の軽減への対応が求められています。最新基盤への移行を検討するお客様では、将来の利用拡大も見据え、必要なリソースを柔軟に利用したいというニーズが多くある一方で、開発・検証環境などでは、遠隔地とのストレージ同期を必要としないケースもあります。

「PowerCloudNEXT」ではこれまで、ローカルサイトとリモートサイト間のストレージ同期を含む基本メニューおよび災害対策メニューを提供してきました。今回、IBM Power11

対応メニューと、ストレージ同期を行わないローカルメニューを追加することで、システムの重要度、利用目的、可用性およびコストに関する要件に応じた選択肢を提供します。

新メニューの概要

1. IBM Power11 対応メニュー

IBM Power11 を基盤とした IBM i および AIX 環境向けに、CPU およびメモリリソースを月額で提供します。必要なリソース量に応じて構成を選択でき、業務システムの利用状況や将来的な拡張に対応します

2. ローカルメニュー

「PowerCloudNEXT」の Power10 および Power11 環境で利用できる、ローカルサイトのストレージを提供するメニューです。
ローカルサイトとリモートサイト間のストレージ同期を行わないため、同期機能を含むメニューと比べてご利用しやすい価格帯でサービスを提供します。

＜主な対象のお客様＞

- IBM Power Systems、IBM i または AIX 環境を継続利用しているお客様
- 最新の IBM Power11 環境への移行・利用を検討しているお客様
- CPU・メモリリソースを利用要件に応じて選択したいお客様
- 開発・検証環境など、ストレージ同期を必要としない環境を利用するお客様
- システム要件に応じて、可用性とコストのバランスを見直したいお客様
- HA ソフトウェアなどを活用し、別途可用性対策を実施しているお客様

<新メニューご利用にあたっての留意点>

- ローカルメニューでは、ローカルサイトとリモートサイト間のストレージ同期は行いません。
- ローカルメニューは基盤メンテナンス時の LPM（Live Partition Mobility）の対象外です。基盤メンテナンス時には、仮想区画の停止を伴います。
- ローカルメニューにおける仮想区画のシャットダウンは、お客様に実施いただきます。
- 提供可否、サービス内容および料金は、お客様の利用構成・利用条件により異なります。詳細はお問い合わせください。

「PowerCloudNEXT®」の特長

1. ベル・データと NTT インテグレーションとの共創サービス

「PowerCloudNEXT」は、ベル・データと NTT インテグレーションが運営するサーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーションを網羅した次世代統合型プラットフォームサービスです。両社 200 名を超える IBM Power のエキスパートが提供する運用サポートは、ユーザー企業の個別ニーズにも対応します。

2.　IBM Power11 を基盤とした IBM i /AIX 環境を利用可能

IBM Power11 を基盤とした IBM i および AIX 環境を利用できます。CPU およびメモリのリソースを利用要件に応じて選択でき、業務システムの利用状況や将来的な拡張に対応します。

3.　用途・可用性要件に応じて選べるストレージメニュー

高い可用性や災害対策を重視する環境には、ローカルサイトとリモートサイト間のストレージ同期を含む基本メニューおよび災害対策メニューを提供します。一方、開発・検証環境や、ストレージ同期が不要な環境では、ローカルメニューを選択できます。システムごとの重要度や利用目的に応じて、適切なサービス構成を選択いただけます。

4.　月額利用により IT コストの平準化を支援

「PowerCloudNEXT」は、IBM Power Systems を基盤とした IBM i /AIX 環境を月額で利用できるサービスです。お客様はハードウェアの保有や更改に伴う負担を抑えながら、利用目的および必要なリソースに応じたシステム基盤を利用できます。

5.　監視・保守・運用サービスをご提供

ベル・データと NTT インテグレーションは、IBM Power Systems 基盤に関する知見と運用ノウハウを活用し、基盤監視、アラート対応、障害対応およびハードウェア保守を提供します。これにより、お客様の基盤運用に関する負荷軽減を支援します。

今後の展望

今回の「IBM Power11 対応メニュー」および「ローカルメニュー」の追加を通じて、IBM i ／AIX 環境を利用するお客様のシステム更改、利用環境の最適化、コスト見直し、ならびに事業継続対策を支援します。

今後も「PowerCloudNEXT」のサービスメニューを拡充するとともに、クラウドサービスの構築・運用で培った技術とノウハウを活用し、システム要件や事業環境の変化に応じた最適なサービスを提供してまいります。

各社会社紹介

ベル・データ株式会社 ＜https://www.belldata.com/＞

創業 37 年を迎えたベル・データは、長年蓄積してきたテクノロジーを駆使し、企業のビジネス課題に対する最適な IT ソリューションを提供しています。2,500 社を超える顧客基盤を通じて培われた技術力とサポート体制を強みに、Power を軸にしたプラットフォーマーとしてお客様の持続的な成長を支援いたします。今後も、Power の世界に安心と価値を継続的に届ける「Power 市場のプラットフォーマー」を目指し、BELL グループのパーパスおよびプロミスに基づく誠実な姿勢のもと、事業活動を推進してまいります。

NTT インテグレーション株式会社（旧社名：日本情報通信株式会社）
＜https://www.niandc.co.jp/＞
NTT インテグレーション（NI+C）は、1985 年に NTT と日本 IBM の合弁会社として設立され、2025 年に創立 40 周年を迎えました。システム開発から基盤構築、クラウド化への対応、社内外データ統合と AI による分析、EDI サービスやセキュリティ、ネットワークサービス、運用保守までをトータルに提供しています。「おもひを IT でカタチに」をスローガンに、お客様の経営課題解決に貢献できる真のベストパートナーを目指してまいります。

※IBM、IBM Power、IBM Power Systems、IBM i および AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

※記載の製品／サービス名称、社名およびロゴマークは、該当する各社・団体の商標または登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
■　BELL グループ　広報室
TEL：03-6386-4433
E-mail：press@bell-group.jp